

平成30年10月16日(火) 13028号



株式会社 日刊金属

本社 〒530-0043
大阪市北区天満2丁目12番3号
ヴィレッジリバー南森町 3階E号
TEL (06) 6353-7831 (代表)
FAX (06) 6353-7832

東京支社 〒140-0001
東京都品川区北品川1丁目9番7号
トッブルーム品川1015
TEL (03) 6869-9983 (代表)

E-Mail info@nikkankinzoku.co.jp
WebPage https://nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12ヵ月 72,000円(税別) データ 12ヵ月 84,000円(税別)
6ヵ月 36,000円(税別) 配信料 6ヵ月 42,000円(税別)

19年世界鉛・亜鉛需給予測

地金生産は増加見通し

鉛は供給余剰に転換へ

国際鉛・亜鉛研究会(ILZSG)がこのほどまとめた2019年上半期の鉛・亜鉛の世界需給動向によると、鉛は18年の供給不足から供給余剰に転換、亜鉛は18年に続き供給不足との見通しとなった。ILZSGは、19年は地金生産量が堅調に増加するとして、亜鉛の供給不足幅は18年比で縮小するとみる。

<鉛>

19年の地金生産量(二次スクラップを含む)予測値は1,184万トンで、18年に比べ2.2%増加するとして。豪州やインド、カザフスタンでの増産が見込まれる一方、中国や米国で減少する見通し。

地金消費量予測値は、18年比0.7%増の1,179万トン。ILZSGは、中国で電気自動車(EV)向けリチウムイオン電池の生産増が続くものの、自動車市場の成長が緩やかになるとの見解を示した。

地金生産量から地金消費量を差し引き、19年は5万トンの供給余剰となる見通し。18年の需給は、12万トンの供給不足とした。

<亜鉛>

19年の地金生産量(二次スクラップを含む)予測値は、18年比3.0%増の1,381万トンとした。

18年・19年の鉛・亜鉛需給

	18年(万トン)	19年(万トン)
地金生産量	1,159	1,184
鉛 地金消費量	1,171	1,179
生産量-消費量	▲12	5.0

地金生産量は二次スクラップ含む ▲は供給不足

	18年(万トン)	19年(万トン)
地金生産量	1,342	1,381
亜鉛 地金消費量	1,374	1,388
生産量-消費量	▲31	▲7

地金生産量は二次スクラップ含む ▲は供給不足

中国やインドでの増産に転じることが主な要因。

地金消費量予測値は1,388万トンで、前年同期比1.1%増加する見通し。中国で見掛け消費量が0.8%増となるほか、米国と欧州でも堅調な需要を見込む。

地金生産量から地金消費量を差し引き、19年は約7万トンの供給不足となる見通し。18年の需給予測は、31万トンの供給不足になるとした。

鋳物用銅合金地金

特殊銅合金各種製造
砲金くず・ラジエーターくず等



角丁原料全般買受け

京和ブロンズ株式会社

京都府久世郡久御山町佐山新開地314
電話 0774-43-6700(代表)

新 断
新ダライ

高価買取します。

(株)エイワ産業

〒577-0536 東大阪市渋川町 2-2-2

☎ 06-7891-8180

FAX 06-7891-8170

三菱マテリアル

300°C超の排熱でも使用可能

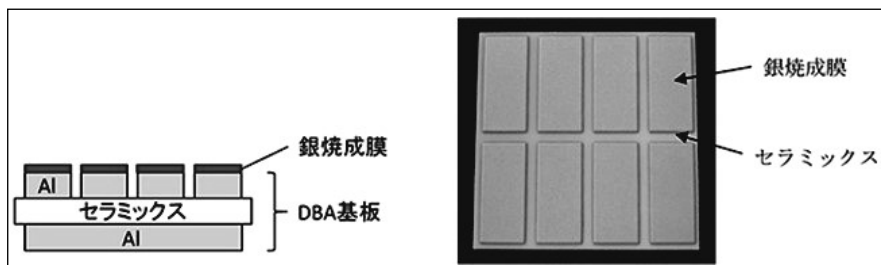
銀焼成膜付DBA基板開発

三菱マテリアル(小野直樹社長)は、自動車や工場などの排熱回収技術である熱電発電モジュール向けに、銀焼成膜を形成したアルミ回路付高放熱セラミックス絶縁基板

(DBA)基板を開発した。中高温とよばれる300~450°Cの大気中でも使用可能な点が特長。

DBA基板のアルミニウム回路上に強い接合力を有する厚膜化した銀焼成膜を形成するよう改良した。高温下での耐酸化性を有する銀による低抵抗回路とDBA基板のアルミニウムによる応力緩和性の両立に成功した。

銀の厚膜回路上に熱電変換素子を直接接合しモジュールの内部抵抗の上昇を抑えることにより、450°Cという高温の排熱の中での高耐久化を実現。銀厚膜回路を使用した新製品とその半導体素子への直接接合により、熱電発電モジュールの高温に対する信頼性の大幅な改善につなげたとしている。



銀焼成膜付DBA基板の構造

日刊金属

外電配信料
(税別)

6ヵ月: 42,000円

12ヵ月: 84,000円

300~400°Cという高温の排熱の中で熱電発電モジュールを使用する場合、大気中における回路金属の酸化や構成部材である基板や熱電変換素子のクラックによる破損が発生することがあり、熱電発電モジュールの内部抵抗が増加してしまうことによる出力低下という問題点を技術改良で克服した。

「グループCSR報告書 2018」発行

昭和電線HD

昭和電線ホールディングス(長谷川隆代社長)は、2017年度の同社グループのCSR(企業の社会的責任)活動報告と今後の取り組みをまとめ、「昭和電線グループCSR報告書2018」を発行した。

2017年度のCSR活動では、「環境」「人権・労働慣行」「取引先との関わり」「顧客との関わり」「ステークホルダーとの関わり」「地域コミュニケーション」「ガバナンス」の7点を中核テーマに設定。これらテーマを「E(環境)への取り組み」、「S(社会)との関わり」、「G(ガバナンス)」の分類でまとめている。

環境では、自主行動計画(第6次グループ環境自主行動計画)の活動事例として、省エネルギー化への取り組みなどを実施した。廃電線リサイクルで循環型社会に貢献する事業会社を紹介している。

社会との関わりでは、取引先と共に果たすべき社会的責任の基本的な考え方や要請事項を

「サプライチェーンCSR推進ガイドライン」として策定した。従業員に対しては、心身の健康の向上とワーク・ライフ・バランスを促進した。

ガバナンスでは、リスクマネジメントに関して、コン

プライアンス順守に向けた継続的な講習会等の取り組みを紹介している。

事業面では、主要5事業と新技術開発、特集では、ビジョンと中期経営計画を説明している。

昭和電線グループCSR報告書2018は、同社ホームページ<http://www.swcc.co.jp/environment/csr/2018/index.html>で閲覧可能。

世界を結ぶ循環流通サービス
原料から製品まで

Ogico OHGITANI Corporation

銅・亜鉛・鉛・錫・ニッケル・アルミ・非鉄金属全般

株式会社 扇谷

本社 大阪市西区土佐堀町1丁目3番7号
tel:06-6444-1521~1530

東京支社 東京都千代田区神田錦町3丁目15番地
tel:03-5282-4800

名古屋支社 名古屋市中村区名駅3丁目16番22号
tel:052-571-2005

海外 シンガポール・香港・タイ・台湾・
マレーシア・フィリピン・上海・深圳・ベトナム

<http://www.ogico.co.jp>

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎

9月の銅の概況及び10月の見通し (4)

【見通し】

- ・自動車は生産が-2%。国内販売台数が前年比-3.1%。生産、販売とも2カ月連続マイナス。
- ・販売のマイナス幅が拡大しておりこれが続くかどうか今後に注目。
- ・住宅着工の動向については、前年同月比で+1.6%と3か月ぶりプラス。
- ・今後プラス傾向が続くのか今後の動向に注目。
- ・伸銅品は3カ月連続減少、前年比-1.3%。
- ・需要の多い銅条3カ月連続マイナス、黄銅棒は3カ月振りプラス、輸出3カ月連続マイナス。
- ・微減ではあるが今後マイナスが続くか注目。
- ・電線は前年比+2.2%の5万4800 t。
- ・輸出が-10.6%。需要の多い自動車、建設電販がそれぞれ+4.1、+4.5%。建設電販が5カ月連続プラスに！
- ・銅輸出は地金が円安から増加。スクラップは内需用途から減少。
- ・銅輸入はLME価格の上昇や円安を受けての割高感から減少。

【スクラップ景況予想】

流通在庫は、月初の建値71万から一時75万まで上昇したため多少でてくるが閉屋の塩漬け在庫は建値80万時のものと言われておりでこないのでは？。

需要面に関しては足元の生産状況が比較的良好。

秋冬の需要に向けて購入意欲は高いが品費の良いスクラップは高値で購入したもので閉屋の出し渋りが考えられ、建値が更に上昇しなければ需給は引き締まるのではない。

【LME・為替予想】

今月は米中貿易戦争とLME銅在庫の動向に左右される。

米中貿易戦争に関しては2,000億ドル相当の中国製輸入製品に対して25%の上乗せ関税を課す予定を10%に減少させ、中国高官との交渉を検討するなどの譲歩はあったが、結果交渉は流れ、またさらに追加関税に言及している事から治まる気配はないのではないか？

LME在庫の動向に関しては、先日長い間の節目であった20万tを切った。これは中国環境規制の銅スクラップなどの輸入減少から電気銅を買う傾向が流暢になってきている現れ。今後もこの傾向が続くのではない？

これらを踏まえた9月の銅価格は、米中貿易戦争で緩和に向かう何かしらの話し合いや政策がでてLME

在庫が19、18万tと順調に減少した場合6,400ドル付近。両条件が揃わなかった場合現状からもう一段安の5,900ドル付近まで下落するとの予想。

ドル円値は111円~114円(TTM)台を予測。

銅建値に関しては700-770円程度と予測している。

9月のアルミ概況および10月の見通し (1)

予測レンジ

LME	現物後場買い	1,900-2,100ドル	●
スクラップ	0~+5円	(前月最終価格より)	●
為替	111-114円	(1か月間TTM)	●

■国際概況

前半は、トランプ米大統領が自動車関税をゼロにするというEUの提案を拒否、ロシア・ルサールが10月に予定されている米国からの制裁に備えて生産量を落とすと報じられて、週初急騰した上げ幅を縮小するなどのマイナス材料もあった。しかし、8月の米雇用統計は、非農業部門の雇用者数は前月比20.1万人増で事前予想の19万人を上回ったことや、トランプ政権の貿易制裁関税案についての一般からの意見募集が終了したことなどを好感しUP。

9月15日時点で2,034ドル(セツル)と月初価格から29ドルDOWNの前半締めとなった。

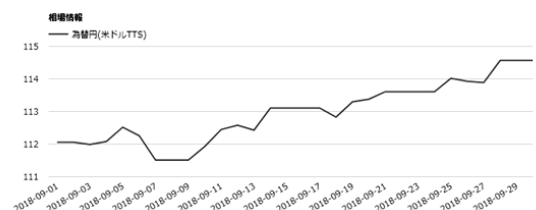
後半は米が17日にも対中追加関税第3弾、2,000億ドルを発動する可能性があり、中国側も対抗措置を講じる用意があると報じられるなど、米中通商問題がさらに深刻化していることや、マーケット発表の9月の中国製造業PMI指数が50.0と前月の50.6から大幅悪化などのマイナス材料もあったが、米国の2,000億ドル追加関税措置が当初の25%から10%に軽減されたこと、NYダウの最高値更新、中国の景気刺激策期待からほぼ全面高などを好感しUP。

10月2日現在、後半スタート価格から62.5ドルUPの2,047.5ドル。

■国内概況

◆月間のドル/円レート(TTS)

111.19→113.74(円)



出展 MIRU

【次号へ続く】



フジメタル工業、10月後半の減摩合金価格を発表

フジメタル工業(株)は、10月後半の減摩合金算定価格を改定、10月16日より適用した。新算定価格は次の通り（ホワイトメタル〈JIS規格品〉、500キロ以上の大口、キロ当たり円、カッコ内は前回比）。

◇1種 2,670円(+15) ◇2種 2,605円(+15) ◇2種 B2,565円(+10) ◇3種 2,535円(+15) ◇4種 2,235円(+10)
 ◇5種 2,155円(+20) ◇6種 1,665円(+10) ◇7種 895円(+10) ◇8種 810円(+10) ◇9種 720円(+5)
 ◇10種 760円(+5)。

原料は、錫=2,405(+10)、アンチモン=1,160(+35)、銅=754(+25)、鉛=292(0)、亜鉛=354(+37)となった。

故銅市況

前週末13日入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場の直物前場売値が、前日の6,155.00ドルより170.00ドル高の6,325.00ドル。この日の直物後場買値は、前日の6,287.00ドルより30.00ドル高の6,317.00ドル。カーブ取引は前日の6,241.00ドル～6,242.00ドルより61.00ドル高の6,302.00ドル～6,303.00ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場（10月限）は、前日の279.70より0.40セント安の279.30セント。SHFE（上海先物取引所）の銅相場（10月限）は、前日の5万0,130元より480元高の5万0,610元。

週明け15日の東京為替市場TTSレートは、前週末の113.19円より0.16円の円高ドル安で1ドル=113.03円。NYカーブLME先物比は5.00ドル安。13日に入電したLME銅相場のセツルメントは6,325.00ドル。この値と15日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前週末の73万6,000円より1万8,000円高の75万4,000円。この日、電気銅建値は75万円に据え置かれた。

為替動向

15日午前の東京外国為替市場で、円相場は反発した。午前9時の気配値は、1ドル=112.19円～112.22円、前日の17時時点に比べ0.13円の円高・ドル安。

12日のロンドン外国為替市場、現地16時時点は1ドル=112.10～112.20円、前日の同時刻比0.10円の円高・ドル安だった。

同日のニューヨーク外国為替市場は、前日比0.04円の円安・ドル高、1ドル=112.16円～112.26円で取引を終了した。

ニューヨーク外為市場では、株式市場の動向をうかがう取引となった。ダウ工業株30種平均が上下動する中、円は売り買いが交錯。株価が上昇局面に入った後はリスク選好からの円売りが出た。週末を控え、持ち高調整の円売り・ドル買いりも出たもよう。ニューヨーク市場のドル円レートのレンジは、111.88円～112.37円だった。

週明けの東京市場は、海外市場の終値水準で始まった。東京株式市場で日経平均株価が200円を超える下げで始まっており、リスク回避の円買いが入った。米政府が、日米通商交渉で為替安誘導を防ぐための「為替条項」を求める姿勢を示しており、やや動きにくい展開になるとの指摘も出た。

故銅直納問屋筋の平均値頃感（単位は千円）

直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が619～624、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは600～605、並銅は539～544、込銅（高品位＝約97％）は499、セバは536～541。コーペルは要り用筋で467、それ以外は459ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋422、それ以外405～430どころの値頃。並青銅鋳物削粉は468～473どころ。

小口市中相場（1トン前後）では、ピカ線が602～607、上銅新くずが589～609、普通上銅が556～566、2号銅線が562～572、並銅が527～528、込銅（90-93％）が486～453、下銅が312～362、セバが503～513、コーペルが459～499、黄銅棒地が455～460、黄銅削粉が363～410、黄銅ラジが412～420、交叉ラジが340～351、黄銅銅鋳物が374～381、送りが173～188、上青銅鋳物が478～494、並青銅鋳物が470～483、上青銅鋳物削粉が475～494、並青銅鋳物削粉が468～472どころ。

故銅・銅滓 アルミ原料

高価即金買入

——ご照会を乞う。

森 下 商 店

大阪市西成区南津守 7-12-46

TEL (06)6659-5577～8

FAX (06)6659-5579



LME銅公式値は急伸 中国貿易統計を好感
カーブ取引は続伸 COMEX銅相場は小幅反落 SHFE銅相場は反発
LME非鉄相場はほぼ全面高 世界的な株価回復が支援材料に
アルミは6営業日ぶりに反発、テクニカル買いと安値拾いが相場押上

13日入電の海外相場は、銅の直物が、LME（ロンドン金属取引所）の公式値ベースで、前日の6,153.50ドルより170.50ドル高の6,324.00ドルと急伸。この週は2.29%の上伸。3か月物も、前日の6,140.25ドルより162.75ドル高の6,303.00ドル、この週1.87%の上伸。LME公認倉庫の銅在庫量は、前日の17万トンより約4,000トン減のおよそ16万7,000トン（丸め込み）、この週10.81%の減。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場（10月限）は、前日の279.70セントより0.40セント安の279.30セント、この週4.20セントの上伸。カーブ取引は、前日の6,241.00ドル～6,242.00ドルより61.00ドル高の6,302.00ドル～6,303.00ドル、この週2.09%の上伸。SHFE（上海先物取引所）の銅相場（10月限）は、前日の5万0,130元より480元高の5万0,610元、この週0.74%の上伸。

12日発表された9月の中国貿易統計で未精錬銅の輸入量が2年半ぶりの高水準となった。これを好感、世界的な株価の回復など、投資家のリスク選好回帰を背景に銅相場は上昇した。

錫は反発

LME錫相場の直物は、前日の1万8,962.50ドルより77.50ドル高の1万9,040.00ドル、この週0.61%の上伸。3か月物も、前日の1万8,970.00ドルより75.00ドル高の1万9,045.00ドル、この週0.57%の上伸。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

1トン程度・置場・現金・キロ当たり円

関東地区(10月前半)

2S=194円～202円、63S=191円～195円、アルミホイール(1P)=186円～191円、ビス付サッシ=140円～144円、エンジンコロ=146円～148円、込合金(機械鋳物)=142円～144円、缶プレス(ソフト)=109円～123円。

関西地区(10月前半)

2S=189円～197円、63S=187円～191円、52S=199円～203円、印刷版=192円～197円、アルミホイール(1P)=175円～180円、ベースメタル=199円～204円、機械鋳物=146円～151円、ダライ粉=118円～120円、ビス付サッシ=141円～146円、缶プレス=124円～129円。

鉛も反発

LME鉛相場の直物は、前日の1,908.00ドルより128.00ドル高の2,036.00ドル、この週3.32%の上伸。3か月物も、前日の1,907.00ドルより122.00ドル高の2,029.00ドル、この週1.91%の上伸。

亜鉛も反発

LME亜鉛相場の直物は、前日の2,637.50ドルより39.00ドル高の2,676.50ドル、この週1.21%の上伸。3か月物も、前日の2,617.50ドルより17.00ドル高の2,634.50ドル、この週0.53%の上伸。

アルミも反落 アルミ合金はまちまち 北米特殊アルミ合金もまちまち

LMEアルミ相場の直物は、前日の2,023.75ドルより21.00ドル高の2,044.75ドル、この週4.44%の下落。3か月物も、前日の2,028.25ドルより19.50ドル高の2,047.75ドル、この週4.77%の下落。LMEアルミ合金相場の直物は、前日の1,410.00ドルより17.50ドル高の1,427.50ドル、この週0.52%の下落。3か月物は、前日の1,512.50ドルより27.50ドル安の1,485.00ドル、この週横ばい。LME北米特殊アルミ合金相場の直物は、前日の1,475.00ドルより2.50ドル高の1,477.50ドル、この週2.31%の下落。3か月物は、前日の1,520.00ドルより5.00ドル安の1,515.00ドル、この週2.26%の下落。LME公認倉庫のアルミニウム在庫量は、前日のおよそ94万2,000トンより約8,000トン減のおよそ93万4,000トン、この週3.45%の減。

ニッケルは反発

LMEニッケル相場の直物は、前日の12,415.00ドルより292.50ドル高の12,707.50ドル、この週2.52%の上伸。3か月物も、前日の12,500.00ドルより295.00ドル高の12,795.00ドル、この週2.65%の上伸。

銅・非鉄金属地金全般

株式会社 オカモト

代表取締役 岡本宜三

大阪府堺市美原区黒山 696

☎ 072-361-2264 fax 072-361-2265

LME公式値（単位：ドル）／10月12日（現地）

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公式値	6,324.00	19,040.00	2,036.00	2,676.50	2,044.75	1,427.50	1,477.50	12,707.50
	前営業日比	170.50	77.50	128.00	39.00	21.00	17.50	2.50	292.50
	週間増減比	2.29%	0.61%	3.32%	1.21%	▲4.44%	▲0.52%	▲2.31%	2.52%
先物	公式値	6,303.00	19,045.00	2,029.00	2,634.50	2,047.75	1,485.00	1,515.00	12,795.00
	前営業日比	162.75	75.00	122.00	17.00	19.50	▲27.50	▲5.00	295.00
	週間増減比	1.87%	0.57%	1.91%	0.53%	▲4.77%	0.00%	▲2.26%	2.65%

海外非鉄金属相場

(10月13日 入電・現地 10月12日)

1 ロット＝銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫 5 トン、アルミ合金20トン、ニッケル 6 トン
セツルメント＝現物・前場・売

	前 買	場 売	後 買	場 売
銅A G				
現 物	6323.0	6325.0	6317.0	6319.0
前日比		170.0	30.0	
先 物	6302.0	6304.0	6293.0	6295.0
出来高				170,996
錫H G				
現 物	19030.0	19050.0	19080.0	19130.0
前日比		75.0	▲ 115.0	
先 物	19040.0	19050.0	19075.0	19125.0
出来高				4,453
鉛				
現 物	2035.0	2037.0	2071.5	2073.5
前日比		128.0	103.5	
先 物	2028.0	2030.0	2048.0	2050.0
出来高				82,803
亜鉛S H G				
現 物	2676.0	2677.0	2673.5	2675.5
前日比		39.0	15.0	
先 物	2634.0	2635.0	2640.0	2642.0
出来高				90,890
アルミH G				
現 物	2044.5	2045.0	2033.5	2035.5
前日比		21.0	6.5	
先 物	2047.5	2048.0	2039.0	2041.0
出来高				232,247
アルミ合金				
現 物	1425.0	1430.0	1424.5	1434.5
前日比		10.0	▲ 19.5	
先 物	1470.0	1500.0	1470.0	1480.0
出来高				347
北米特殊アルミ合金				
現 物	1465.0	1490.0	1470.5	1500.5
前日比		10.0	▲ 14.5	
出来高				1,326
ニッケル				
現 物	12705.0	12710.0	12600.0	12625.0
前日比		290.0	5.0	
先 物	12790.0	12800.0	12675.0	12700.0
出来高				108,214

NYコメックス相場

出来高：1 ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント

金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

	銅HG	金	銀	プラチナ	パラジウム
10月限	279.30	1218.1	1456.4	836.2	1078.80
11月限	279.55	1219.5	1458.5	836.4	1077.40
12月限	280.05	1222.0	1463.5	838.3	1060.80
1月限	280.95	-	1467.8	840.0	-
2月限	281.65	1227.9	-	-	-
前 日 比	▲ 0.40	▲ 5.4	2.9	▲ 6.6	▲ 14.40
出 来 高	111,303	311,591	68,394	-	4,915

採算価格

フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

為替相場	LME (円ベース/キロ)						COMEX	上海 元・円 (前日) = 16.58			
ドル・円	銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	ニッケル	銅	銅	アルミ	亜鉛	鉛
T T S	6325	19050	2037	2677	2045	12710	279	50610	14195	23915	18695
113.03	6363	2353	267	343	243	1637	740	839	235	397	310
-0.16	+ 5629	+ 6	+ 15	+ 3	+ 2	+ 30	- 1	+ 12	+ 0	+ 6	+ 6

フリー・マーケット

■米国生産者価格

銅(セント/ポンド)			
銀(セント/オンス)HH社	1460.3		

■NY相場

取引業者銅(セント/ポンド)	256.4	~	257.4
2号銅線くず(セント/ポンド)	353.35	~	357.35

■ロンドン相場 (ドル)

金 (オンス)	1219.8		
アンチモン99.6% (トン)	8500	—	8700
ビスマス99.99%(ポンド)	4.40	—	4.70
カドミウム99.99%(ポンド)	1.25	—	1.35
インジウム99.97%(キロ)	275	—	290
セレンウム99.5%(ポンド)	13.50	—	14.50
スポンジチタン99.5%(キロ)	7.30	—	8.00
フェロモリブデン欧州産(キロ)	29.00	—	29.60
コバルトカソード99.8%(ポンド)	33.00	—	34.00
マグネシウム中国産99.9%(トン)	2450	—	2600
タングステンAPT(MTU単位)	280	—	300
タンタル鉱石30-35%(ポンド)	90	—	100

■K L T M 錫 (Mドル/キロ、出来高トン)

	(12日)	(15日)
相 場	78.95	79.01
出来高	43	26
ドル建て価格	19000	19000
O D レート	3.7600	3.7600
M \$ / U S \$ レート	4.1551	4.1586
採算円/キロ	2382	2380
US\$採算円/キロ	2155	2152

L M E 在庫 (トン)

	在庫	増減
銅	166,600	▲ 3,500
錫	3,170	▲ 20
鉛	116,400	25
亜鉛	190,775	▲ 725
アルミ	933,500	▲ 8,000
アルミ合金	13,860	▲ 80
北米特殊A L 合金	146,760	▲ 340
ニッケル	224,226	▲ 702

コメックス銅在庫 (トン)

	166,200	▲ 723
上海在庫 (トン)	銅 125,700	13,705
(10/12 現在)	アルミ 842,676	10,420
	亜鉛 43,373	14,169
	鉛 11,172	▲ 470

NYカーブ	銅 6287.50	~	6288.50	15.00
	アルミ 2029.50	~	2030.50	5.50

上 海 相 場 トン当たり元、1 ロット＝5 トン・増値税込

	銅	アルミ	亜鉛	鉛
10月限	50610	14195	23915	18695
11月限	50490	14230	22710	18510
前 日 比	480	▲ 50	225	335
出 来 高	17150	9300	14400	2780

非鉄金属製品相場

(10月15日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京
銅小板2.0ミリ	980	1010	亜鉛板0.3×3×7	620	620
建築用0.3ミリ	990	1020	印刷用亜鉛板トッパン用	800	800
銅大板2×1×2	1150	1210	給水管13ミリ	310	310
銅管(ベース)	1180	1200	鉛板1.5ミリ	340	340
水道用管(m当たり)13ミリ	840	880	鉛線3ミリ	465	475
銅棒25ミリ	950	1010	軽圧品(仲値)	大阪	東京
銅条1.5×100	960	1010	アルミ箔0.007ミリ	945	935
銅線0.9ミリ	1040	1070	〃 小板1ミリ	520	510
銅帯6×50	960	1010	〃 大板1ミリ	510	500
銅平角線	1240	1250	〃 5052板	650	550
黄銅小板2.0ミリ	845	870	〃 5083板	665	565
〃 〃 0.3ミリ	870	890	〃 2017板	1035	925
黄銅大板2×1×2	1025	1080	〃 線3ミリ	645	560
黄銅管	1360	1310	〃 快削棒25ミリ	785	780
復水器用黄銅管	1310	1330	〃 合金棒25ミリ(17S)	790	760
黄銅棒快削25ミリ	680	720	〃 合金棒25ミリ(56S)	770	720
六角棒	710	750			
四角棒	740	780	貴金属(一般小口向け)		
鍛造用	720	760	白金(グラム)	◎ 3369	
ネーバル	820	860	パラジウム(グラム)	◆ 4239	
高力	820	860	金(グラム)	◎ 4799	
黄銅線6ミリ	1075	1120	銀(キログラム)	◎ 60040	
黄銅平角線ロール仕上	1280	1340			
黄銅条1.5×100	835	880	レアメタル輸入価格	8月通関 (CIF)	
リン青銅板一般用1.0ミリ	1830	1810	金属ケイ素(99.99%未満)	235	
〃 バネ用0.3ミリ	2040	2010	モリブデン酸化物	1917	
リン青銅棒25ミリ	2090	2100	タンタル	55202	
リン青銅線3ミリ	2260	2240	マグネシウム	272	
洋白板一般用1.0ミリ	2660	2610	コバルト	9906	
〃 バネ用1.0ミリ	2860	2820	インジウム	30740	
減摩合金	10月16日改定	銅合金地金	10月1日発表		
(500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪	東京	
1種	◎ 2670	BC 1種	790	—	
2種	◎ 2605	2種	970	—	
3種	◎ 2535	3種	1010	—	
4種	◎ 2235	6種	850	—	
5種	◎ 2155	7種	885	—	
7種	◎ 895	YBSC 3種	690	—	
8種	◎ 810	LBC 3種	975	—	
9種	◎ 720	PBC 2種	1035	—	

合金鉄	8月輸入単価 (CIF)
フェロマンガン2%以上炭素含有	133
〃 〃 その他	196.6
フェロシリコン55%以上	169
フェロクロム4%以上炭素含有	168.4
フェロモリブデン純分60%以上	1993
フェロバナジウム	6404
フェロニッケル33%未満	461.8
電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326

非鉄金属材料相場

		山元建値		電気銅	750(9)	金	4429(15)	
		()		実施日	電気鉛	292(1)	銀	54,120(15)
					電気亜鉛	346(12)	錫(99.99%)	3,600(1)
キロ当たり円		◎上げ◆下げ		(10月15日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		37,000 ~ 41,000(1)
非鉄原料 (炉前材)		大 阪 仲間相場	東 京 仲間相場	地 金		大 阪 仲間相場	東 京 仲間相場	
1トン以上外税持込					高値	安値	高値	安値
1 号 銅 線	659	656	電 気 銅	◎ 717	◎ 712	◎ 719	◎ 714	
2 号 銅 線	599		電 気 亜 鉛	329	324	329	324	
上 銅 (新 切)	631	630	蒸 留 亜 鉛	317	312	317	312	
雑 ナ ゲ ッ ト	569	571	ダイカスト亜鉛2種	274	268	274	268	
並 銅	578	576	再 生 亜 鉛 (98 %)	239	234	239	234	
下 銅	551	547	電 気 鉛	290	280	290	285	
銅 削 粉	554	551	再 生 鉛 1 号	270	263	270	263	
銅 さ い (30 %)	25	25	再 生 鉛 3 号	273	258	273	258	
新 切 黄 銅 セ バ	493	499	錫 1 号	2300	2250	2300	2250	
コ ー ベ ル	471	476	ア ン チ モ ン	1150	1100	1150	1100	
黄 銅 棒 地	461	466	ニッケル(メッキ用)	1650	1600	1650	1600	
黄 銅 削 粉	458	459	コ バ ル ト	9500	9200	9500	9200	
並 黄 銅	435	441	セ レ ニ ウ ム	4600	4400	4600	4400	
黄 銅 ラ ジ エ タ ー	344	342	ビ ス マ ス	1400	1300	1400	1300	
交 叉 ラ ジ エ タ ー	380	365	カ ド ミ ウ ム	500	450	500	450	
黄 銅 鑄 物	436		水 銀	1800	1700	1800	1700	
山 送 り	213		アルミ地金 99.70 %	263	259	265	261	
上 青 銅 鑄 物	522		アルミ二次地金 99 %	207	202	207	202	
並 青 銅 鑄 物	511	517	〃 90 %	200	195	200	195	
上 青 銅 鑄 物 削 粉	516	511	アルミ二次合金ADC12	314	309	317	312	
並 青 銅 鑄 物 削 粉	503	501	鑄 物 用 C2BS	339	334	341	336	
新切リン青銅(伸銅)		666	青銅合金地金 3 種	965	955	1035	1025	
〃 (鑄 物)	641		〃 6種	835	825	850	840	
リ ン 青 銅 削 粉	542	536	ハ ン ダ 錫 60 %	◎ 1835	◎ 1795	◎ 1860	◎ 1830	
新切洋白(電子材)	554	546	〃 50 %	◎ 1620	◎ 1570	◎ 1645	◎ 1615	
			〃 40 %	◎ 1470	◎ 1410	◎ 1430	◎ 1400	
新 切 亜 鉛	138	138	減 摩 合 金 2 種	◎ 2590	◎ 2560	◎ 2595	◎ 2565	
ダイカストくず	122	122	〃 4 種	◎ 2220	◎ 2195	◎ 2225	◎ 2195	
亜 鉛 ド ロ ス	120	110	〃 7 種	◎ 865	◎ 815	◎ 865	◎ 815	
上 鉛	104	102						
電池巢鉛ケース込	40	37	ステンレス・特金	18-8ステンレス 新切		50	55	
活 字 鉛	99	96		〃 ダライ粉		35	40	
				13クローム 新切		18	18	
新 切 ア ル ミ 1 級	158	161		ハイス 9種		130	130	
新 切 サ ッ シ 1 級	159	160		〃 ダライ粉		—	—	
新 切 合 金 1 級	149	150						
機 械 鑄 物 1 級	114	114						
ピ ス 付 サ ッ シ P	100	103						
合 金 削 粉 P	83	86						
込 ガ ラ P	81	83						
カ ン ・ バ ラ	71	78						